

第6回

松江市新たな観光財源

検討委員会

# 1. 開会あいさつ

## 2. 第5回検討委員会の振り返り

# 第5回検討委員会の振り返り①

## 課税免除

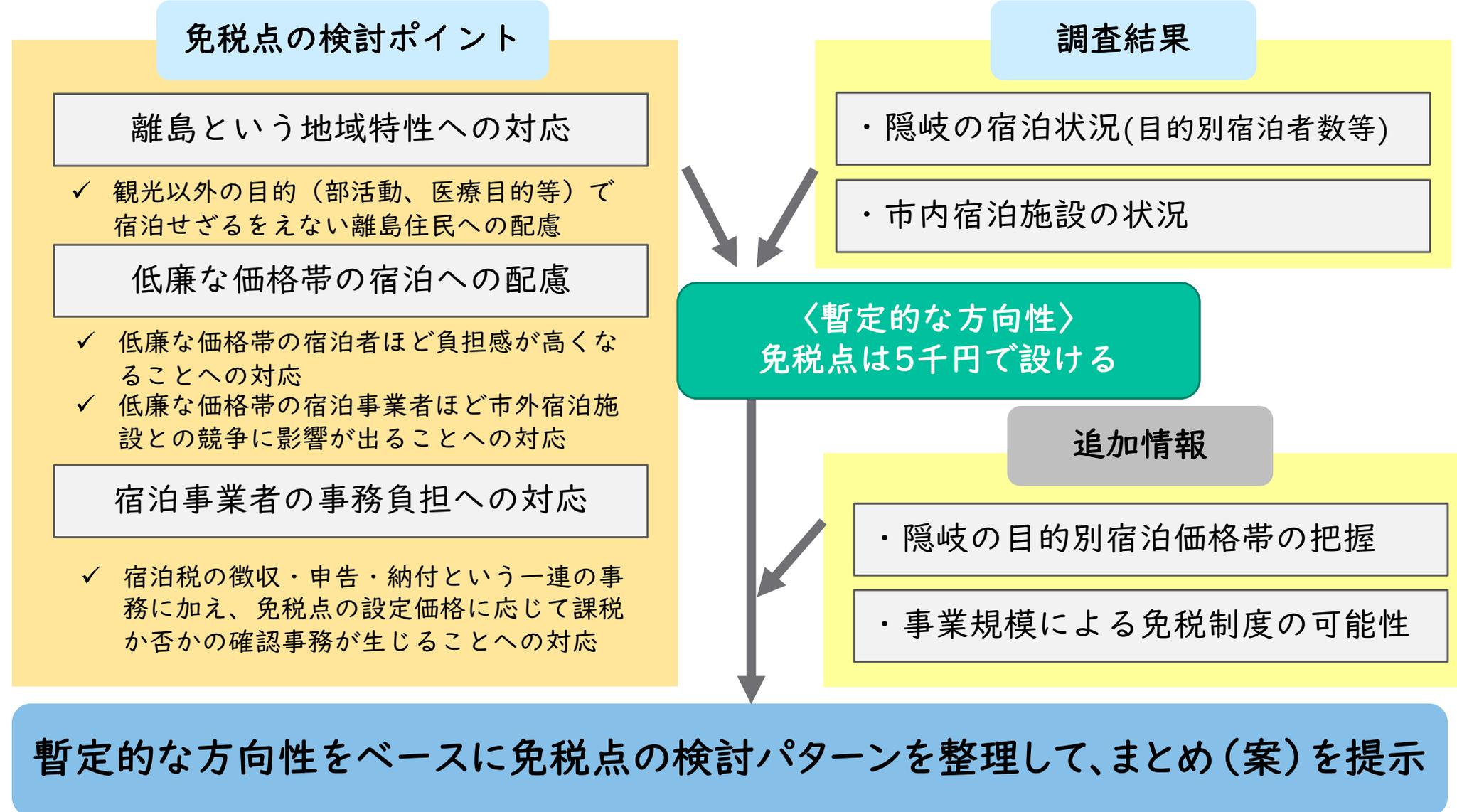
- ✓ 税制度を作るうえで必要な考え方である「課税の公平性」と「課税の明確性」の観点から、全ての宿泊行為を課税対象とすることが基本
- ✓ 公益性の観点から、限定的な対応として教育旅行を課税免除とし、対象の拡大は行わない

## 免税点

- ✓ 離島という地域特性への対応は必要だが、隠岐からの宿泊価格帯は幅広い状況
- ✓ 低廉な価格帯の宿泊に伴う負担感への配慮
- ✓ 市内宿泊施設の状況は
  - ・ 小規模な宿泊施設では8割が5千円未満の価格帯に宿泊
  - ・ 低廉な価格帯が多い簡易宿所や民泊は5割が5千円未満の価格帯に宿泊
  - ・ 全体では5千円以上6千円未満の価格帯から宿泊者が大きく増える傾向

➡ 暫定的な方向性「課税免除の拡大は税制上課題が多いことから、それに代わる手法として、免税点を設けることとし、5千円未満が望ましい」

# 第5回検討委員会の振り返り②



# 3. 議事

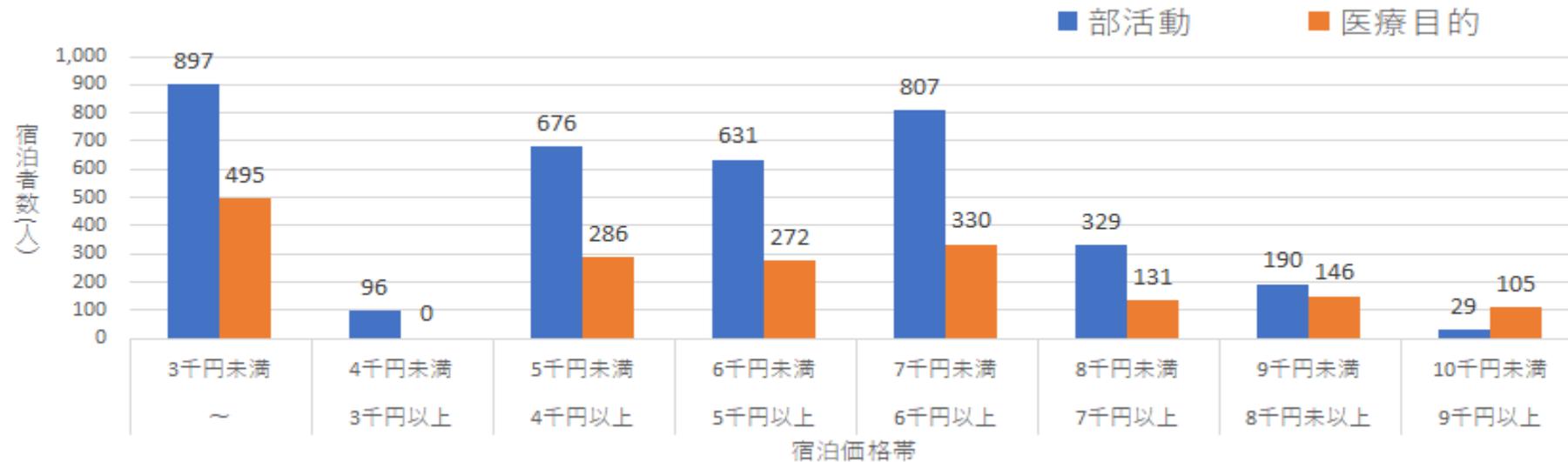
## (1) 狀況報告

隱岐4町村宿泊実態詳細調査結果

# 隠岐4町村宿泊実態詳細調査結果

## ○隠岐4町村 令和5年度松江市内宿泊実績 【施設価格帯別の宿泊者数・割合】

宿泊価格帯		～ 3千円未満	3千円以上 4千円未満	4千円以上 5千円未満	5千円以上 6千円未満	6千円以上 7千円未満	7千円以上 8千円未満	8千円未以上 9千円未満	9千円以上 10千円未満	宿泊者計 (延べ)
宿泊者 内訳	部活動	897	96	676	631	807	329	190	29	3,655
	医療目的 (注)	495	0	286	272	330	131	146	105	1,765
宿泊者数(人)		1,392	96	962	903	1,137	460	336	134	5,420
宿泊者割合(%)		25.7%	1.8%	17.7%	16.7%	21.0%	8.5%	6.2%	2.4%	100.0%



※(注) 医療目的の数値は ①一部、島外通院補助金申請件数や松江市内の主要医療機関通院件数から算出した数字を含む。  
(宿泊を伴わない数値が含まれている可能性あり)  
② 価格帯内訳が不明なものがあり、同一町村の部活動の宿泊価格帯の割合で按分している。

# 3. 議事

## (2) 課税要件の再検討

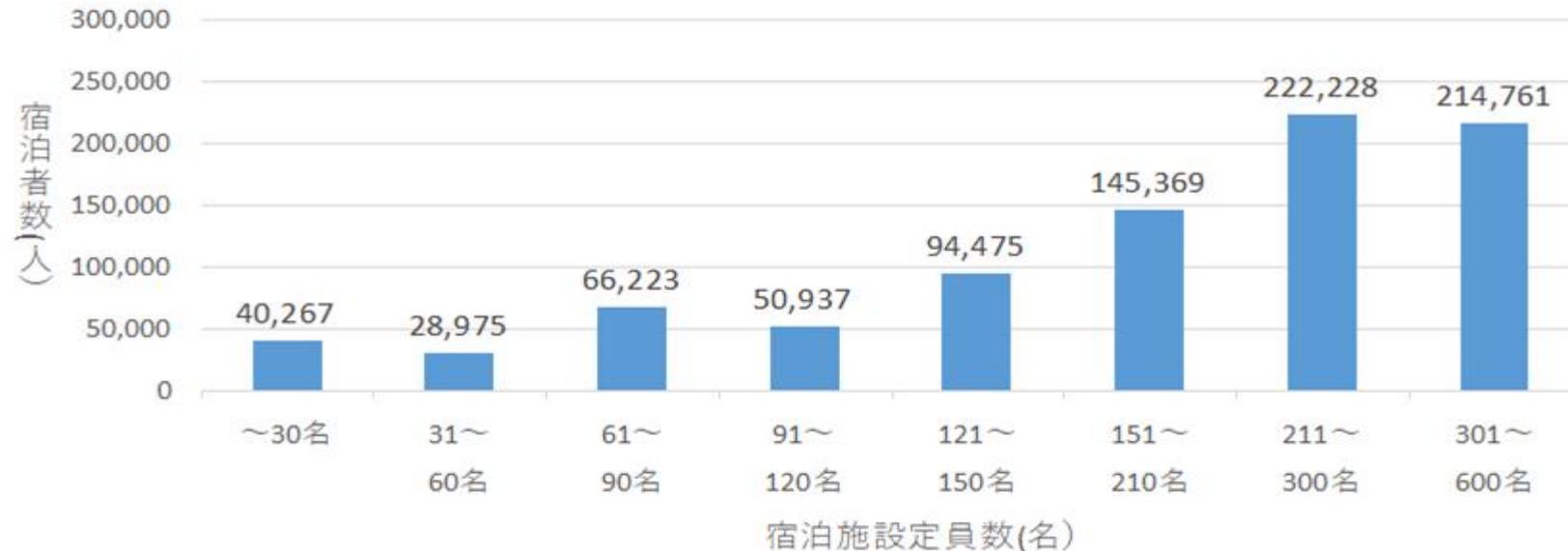
免税点の設定について

# 宿泊施設の定員数に着目した状況分析①

○市内宿泊施設定員数別の宿泊割合

n = 66

宿泊施設定員数	~30名	31~60名	61~90名	91~120名	121~150名	151~210名	211~300名	301~600名	宿泊者計
宿泊者数(人)	40,267	28,975	66,223	50,937	94,475	145,369	222,228	214,761	863,235
宿泊者割合(%)	4.7%	3.4%	7.7%	5.9%	10.9%	16.8%	25.7%	24.9%	100.0%
価格帯別宿泊者数									
~3千円未満	20,844	62	0	0	500	0	0	0	21,406
3千円~4千円未満	5,132	328	1,462	0	15,312	0	0	0	22,234
4千円~5千円未満	6,410	20,079	4,926	3,800	250	25	0	11,401	46,891
5千円~6千円未満	3,905	6,361	34,045	34,689	16,451	59,900	0	9,008	164,359
6千円~7千円未満	685	878	380	200	40,661	5,682	3,200	33,114	84,800
7千円~	3,291	1,267	25,410	12,248	21,301	79,762	219,028	161,238	523,545



## 宿泊施設の定員数に着目した状況分析②

○免税の対象を定員数で設定した場合の税込への影響見込み

- ✓ 影響額試算のための宿泊者数は直近実績の令和5年数値(1,827千人)を採用
- ✓ 令和5年宿泊客数 1,827千人 × 税率200円 ÷ 税込365,000千円

設定定員数	30名迄	60名迄	90名迄	120名迄	150名迄	210名迄	300名迄
宿泊者割合 (累計) %	4.7%	8.0%	15.7%	21.6%	32.5%	49.4%	75.1%
影響額 (千円)	▲ 17,045	▲ 29,310	▲ 57,341	▲ 78,902	▲ 118,893	▲ 180,426	▲ 274,494
年税額 (千円)	348,355	336,090	308,059	286,498	246,507	184,974	90,906

# 宿泊施設の定員数に着目した状況分析③

## 免税点のねらい

- 納税義務者の負担感を考慮（低廉な価格帯の宿泊への配慮）
- 徴税の合理化

参考：市町村税実務提要、地方税ハンドブック

## 事業規模に着目した免税点

《 例 》 宿泊施設の定員数を基準とした免税の場合

定員数の多少と宿泊価格帯の高低は必ずしも一致しない



定員数の多い施設に宿泊する場合は、宿泊料金が低価格帯であっても免税の対象とならない

➡ 免税点のねらいに届かない部分が生じる

事業規模に着目した免税点の設定は困難

# まとめ - 免税点の設定(案) -

暫定的な方向性		【免税点を設定する】 1人1泊5,000円未満の宿泊を免税とする
検討ポイント		
地域特性への対応		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 低廉な価格帯の宿泊者への配慮の中で、離島の方々への配慮も一定程度可能</li> <li>✓ 離島の宿泊者のうち、半数程度は免税対象</li> </ul>
低廉な価格帯の宿泊	宿泊者	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 低廉な価格帯の宿泊者の負担感は、一定程度緩和可能</li> <li>✓ 小規模宿泊施設の場合、8割程度が免税対象</li> <li>✓ 低廉な価格帯の傾向にある簡易宿所や民泊の場合、5割程度が免税対象</li> </ul>
	宿泊事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 小規模宿泊施設等における課税対象者の減少に伴い、事務の負担感を一定程度緩和可能</li> <li>✓ 宿泊税制度導入に伴う市外宿泊施設との競争は、一定程度回避可能</li> </ul>
宿泊事業者の事務の負担感		<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 免税点設定に伴い、その設定価格の前後を中心に課税か非課税かの確認事務が発生</li> <li>✓ 5,000円未満の価格帯は宿泊者数が大きく増え始める手前の価格帯であり、確認対象者数が過大とならないことで事務の負担感を一定程度緩和可能</li> </ul>

1人1泊6,000円未満あるいは7,000円未満の宿泊を免税とした場合  
(5,000円未満の場合との比較)

## メリット

- ✓ 納税の負担感を緩和できる対象者の拡大  
→ 離島の宿泊者(5,420人)のうち免税対象者は1~3割増

## デメリット

- ✓ 宿泊事業者の事務負担への影響が増大  
(理由)  
免税点の設定価格が、宿泊者数が大きく増える価格帯と重複し、課税対象の確認対象者数が過大となるため
- ✓ 免税点設定に伴う減収額の拡大に伴い、年税額見込みが想定の3億円を下回る  
→ 年税額0.7億円~1.1億円の減

## 4. 参考資料

宿泊事業者アンケート結果  
(7月末確定)

# 宿泊事業者アンケート結果 (7月末確定)

○調査目的: 宿泊税制度基本方針(案)の再検討を行うにあたり、宿泊価格帯の状況把握、課税免除の拡大や免税点設定に関する事務負担感について意見を聴取するもの

○調査対象: 松江市内に宿泊施設を有する事業者(休止中施設を除く)

○調査方法: 132事業者・167施設に郵送配布、郵送回収

○調査期間: 令和6年6月11日(火)～令和6年6月24日(月)

○回収結果:

(調査期間経過後の7月12日提出分迄反映)

営業種別	配布数(割合)	回収数(割合)	回収率
旅館・ホテル	81 (48.5%)	51 (53.7%)	63.0%
簡易宿所	79 (47.3%)	40 (42.1%)	50.6%
住宅宿泊事業法届出施設(民泊)	7 (4.2%)	4 (4.2%)	57.1%
合計	167 (100.0%)	95 (100.0%)	56.9%

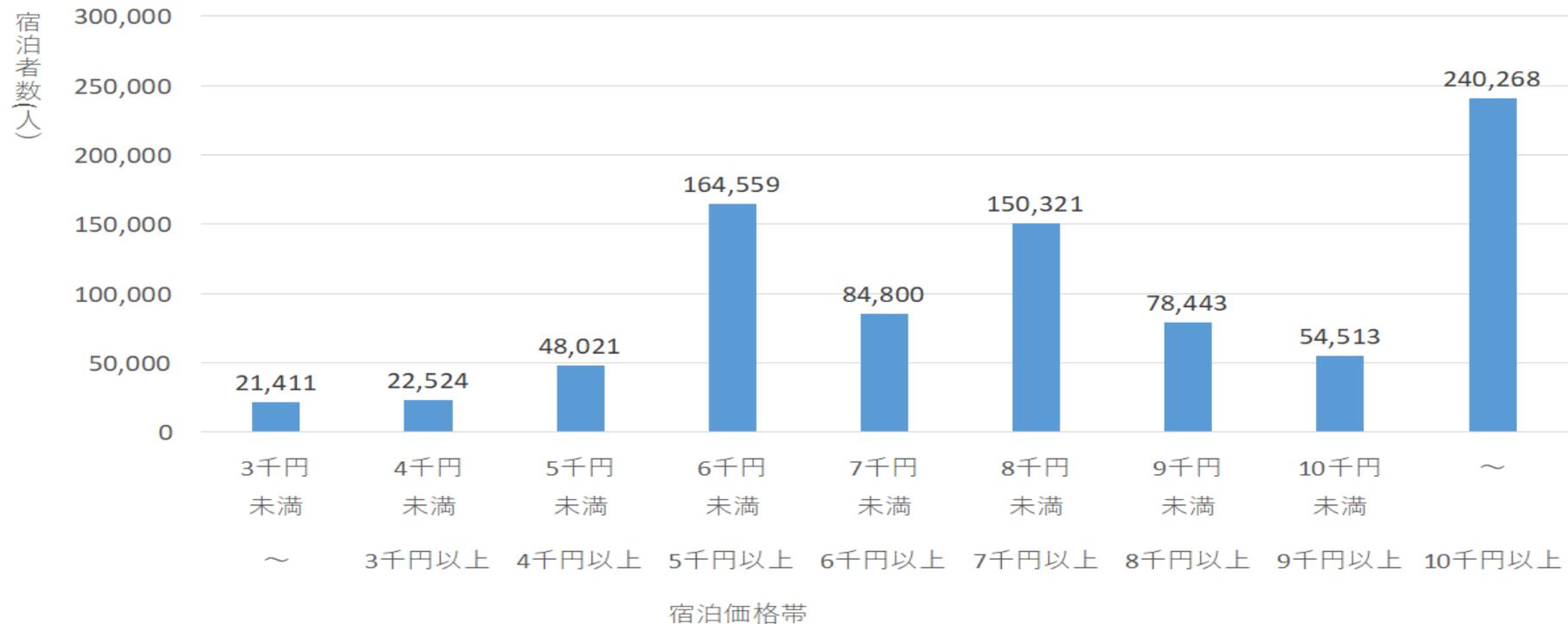
# 宿泊事業者アンケート結果 (7月末確定)

○市内宿泊施設価格帯別の宿泊割合 (※価格帯は素泊まり料金)

n = 75

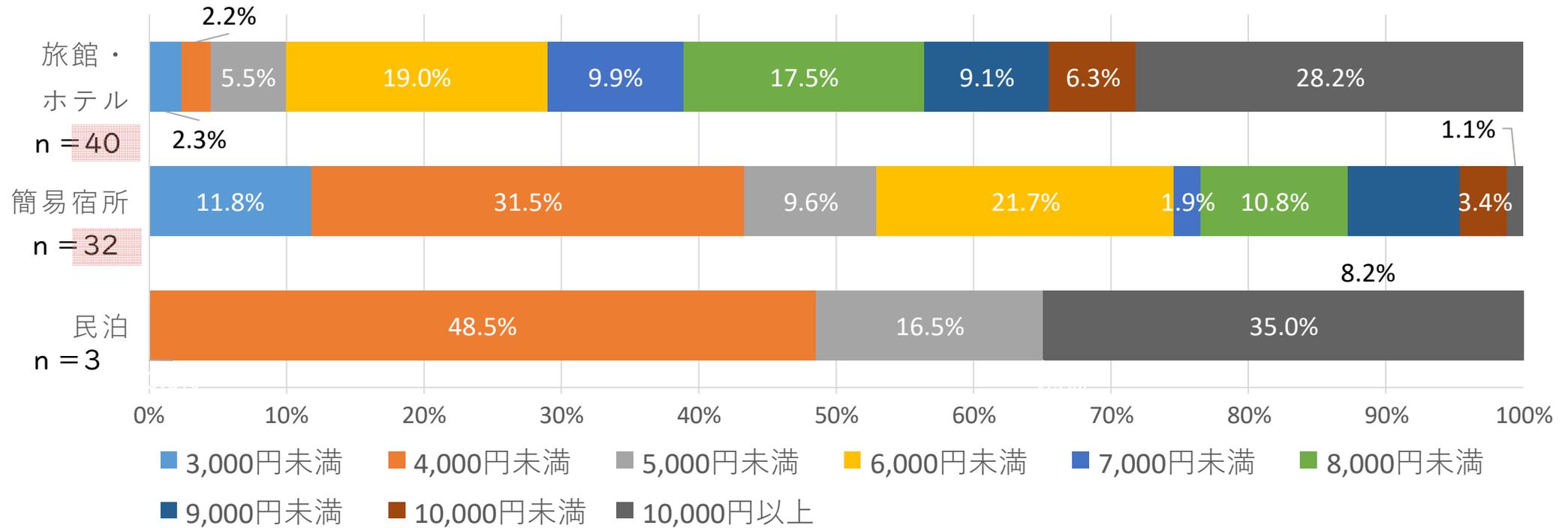
宿泊価格帯	～ 3千円未満	3千円以上 4千円未満	4千円以上 5千円未満	5千円以上 6千円未満	6千円以上 7千円未満	7千円以上 8千円未満	8千円以上 9千円未満	9千円以上 10千円未満	10千円以上 ～	宿泊者計
宿泊者数(人)	21,411	22,524	48,021	164,559	84,800	150,321	78,443	54,513	240,268	864,860
宿泊者割合 (%)	2.5%	2.6%	5.6%	19.0%	9.8%	17.4%	9.1%	6.3%	27.8%	100.0%

(アンケート回答のうち宿泊価格帯内訳が不明なもの等は集計対象外としている。)



# 宿泊事業者アンケート結果 (7月末確定)

## ○【宿泊施設別】施設価格帯別の宿泊割合



## ○【定員30人以下】施設価格帯別の宿泊割合

n = 38

宿泊価格帯	~ 3千円未満	3千円以上 4千円未満	4千円以上 5千円未満	5千円以上 6千円未満	6千円以上 7千円未満	7千円以上 8千円未満	8千円以上 9千円未満	9千円以上 10千円未満	10千円以上 ~	宿泊者計
宿泊者数(人)	20,844	5,132	6,410	3,905	685	1,611	1,011	288	381	40,267
宿泊者割合(%)	51.8%	12.7%	15.9%	9.7%	1.7%	4.0%	2.5%	0.7%	0.9%	100.0%

# 免税点の設定について (数値更新)

## ○免税点を設定した場合の税込への影響見込み

- ✓ 影響額試算のための宿泊者数は直近実績の令和5年数値(1,827千人)を採用
- ✓ 令和5年宿泊客数 1,827千人 × 税率200円 ÷ 税込365,000千円

設定 ライン	3千円 未満	4千円 未満	5千円 未満	6千円 未満	7千円 未満	8千円 未満	9千円 未満	10千円 未満
宿泊者割合(累計)	2.5%	5.1%	10.6%	29.7%	39.5%	56.8%	65.9%	72.2%
影響額(千円)	▲ 9,135	▲ 18,635	▲ 38,732	▲ 108,524	▲ 144,333	▲ 207,547	▲ 240,799	▲ 263,819
年税額(千円)	356,265	346,765	326,668	256,876	221,067	157,853	124,601	101,581

- 〈参考〉 ・ 令和4年宿泊者数1,484千人×税率200円=税込2.97億円÷約3億円(当初税込見込み)  
 ・ 「免税点を●千円に設定」➡ ●千円未満は課税しない